



次期総合計画策定に伴うワークショップ運営業務  
新規採用職員ワークショップ

# 2030年の理想の新潟市を実現するため、 これからの行政がすべきこと

## 報告書

令和4年3月 新潟市

## INDEX

---

1.開催概要	3
2.準備から開催までの流れ	3
3.ワークショップ当日の流れ	6
4.各グループの作成した成果物	10
5.成果のまとめ	14
【地域資源のまとめ】	14
【地域課題のまとめ】	23
【新潟市の将来像のまとめ】	29
【午前・午後のチームが作成した全体統合文の集約】	37
6.ふりかえりシートのまとめ	38

---

## 1. 開催概要

### 〈1〉開催の目的

職員研修の一環として次期総合計画の策定に向けた意見交換を行い、本市のまちづくりの方向性やビジョンについて理解を深める。

### 〈2〉ワークショップ名及びテーマ

2030年の理想の新潟市を実現するため、これからの行政がすべきこと

### 〈3〉開催日時

2021年11月12日（金） 午前の部 8:55～11:55  
午後の部 14:05～17:05

### 〈4〉会場

新潟市音楽文化会館 1階 練習室 13

### 〈5〉参加人数

令和3年度新潟市新規採用職員 計67名（午前：35名、午後：32名）

### 〈6〉スタッフ及びファシリテーター

- ・メインファシリテーター：大滝 聡（午前の部、午後の部共）
- ・サブファシリテーター：金子洋二（午前の部）、山賀昌子（午後の部）
- ・ファシリテーター：渡邊 彩（午前の部）、成田倫史（午後の部）
- ・事務担当：佐野智香、野澤葉子

## 2. 準備から開催までの流れ

### 〈1〉事前課題

- (1) 2030年の新潟市の理想像を考えてくる。  
→当日のグループワーク時にご自身の考えを発表していただき、グループ内で意見交換をする。
- (2) 2030年の理想像の実現に向け、活かせる固有資源を挙げる。
- (3) 理想像の実現に向け、2030年までに解決すべき地域課題を挙げる。  
→(2)(3)はできるだけたくさんあげ、その中で最も重要だと思えるものをそれぞれ5つに絞ってワークシートに記入し、ワークショップ当日に持参する。

### 〈2〉当日の準備

#### 【配付資料】

- ・事前課題シート（前項の事前課題を記入するための専用シート）
- ・当日プログラム
- ・参考資料（「カードを使った情報集約」の解説テキスト ※マチダスより）
- ・ふりかえりシート（終了後のアンケート用紙）

# 新規採用職員ワークショップ 事前課題シート

開催日までにこのシートを記入してご持参ください。

記載内容は自分の業務分野でも、業務分野以外でもどちらでも構いません。

課名

職員番号

お名前

2030年の新潟市の理想像を  
考えて右に記入して下さい

記載例：「人と環境に優しいまち」、「誰もが、来たい、住みたい、働きたいと思えるまち」

理想像に活かせる地域資源をできるだけ数多く記入してください。  
(特に重要なものだと思える資源を5つ選び出し、その番号に○を付けてください)

地域資源とは、自然・歴史・文化・暮らし・風習・人材・特産品など、その地域（まち）  
が持っている固有の財産のことを指します。

記載例 ①信濃川の景観 ②開港5歳の面影 ③マツガヤアニメ ④人情溢れる商店街  
⑥坂口安吾 ⑦ルレチエなど

- 1 \_\_\_\_\_ 11 \_\_\_\_\_
- 2 \_\_\_\_\_ 12 \_\_\_\_\_
- 3 \_\_\_\_\_ 13 \_\_\_\_\_
- 4 \_\_\_\_\_ 14 \_\_\_\_\_
- 5 \_\_\_\_\_ 15 \_\_\_\_\_
- 6 \_\_\_\_\_ 16 \_\_\_\_\_
- 7 \_\_\_\_\_ 17 \_\_\_\_\_
- 8 \_\_\_\_\_ 18 \_\_\_\_\_
- 9 \_\_\_\_\_ 19 \_\_\_\_\_
- 10 \_\_\_\_\_ 20 \_\_\_\_\_

理想像の実現に向け、解決すべき地域課題は何だと思いますか？

記載例 解決すべき地域課題：「地域から若者が流出していること」

その理由：新潟市の将来を担うべき若者が減ることを危惧しているため

解決すべき  
地域課題 1

その理由（なぜそれを解決したい課題だったか）

解決すべき  
地域課題 2

その理由（なぜそれを解決したい課題だったか）

解決すべき  
地域課題 3

その理由（なぜそれを解決したい課題だったか）

## ※事前に配付した事前課題シート

### 開催概要

## ■当日プログラム

開催概要

新潟市新規採用職員ワークショップ

2030年の理想の新潟市を実現するため、  
これからの行政がすべきこと

## 当日プログラム

Program

午前の部	午後の部	
8:40	13:45	<b>受付開始</b> ※当日は記入済みの事前課題シートをご持参ください。
8:55	14:05	<b>オープニング</b> 主催者挨拶、ファシリテーターの紹介、ワークショップの作業解説
9:15	14:25	<b>ゆるやかな関係づくりゲーム</b> 緊張を解きほぐすためのグループ編成を兼ねたゲーム
9:35	14:45	<b>グループ内における事前課題の個別発表</b>
9:55	15:05	<b>ワークショップ ① 情報集約</b> 各メンバーから出された資源と課題をグループごとに集約
10:20	15:30	<b>ワークショップ ② テーマについての意見交換～意見集約</b>
11:30	16:40	<b>全体発表 (各グループ2分×7グループ)</b>
11:50	17:00	<b>クロージング</b> ふりかえりシートの記入
11:55	17:05	<b>終了</b>

MEMO

### 3. ワークショップ当日の流れ

#### □ゆるやかな関係づくりゲーム

最初は初対面である緊張感を解きほぐし、お互いのことを知り合うためのアイスブレイクゲームを行い、自己紹介をし合った。



自分の誕生日ごとに立ち位置を決め自己紹介を行うバースディサークル（午前の部）

#### □事前課題の個別発表と情報集約のワークショップ

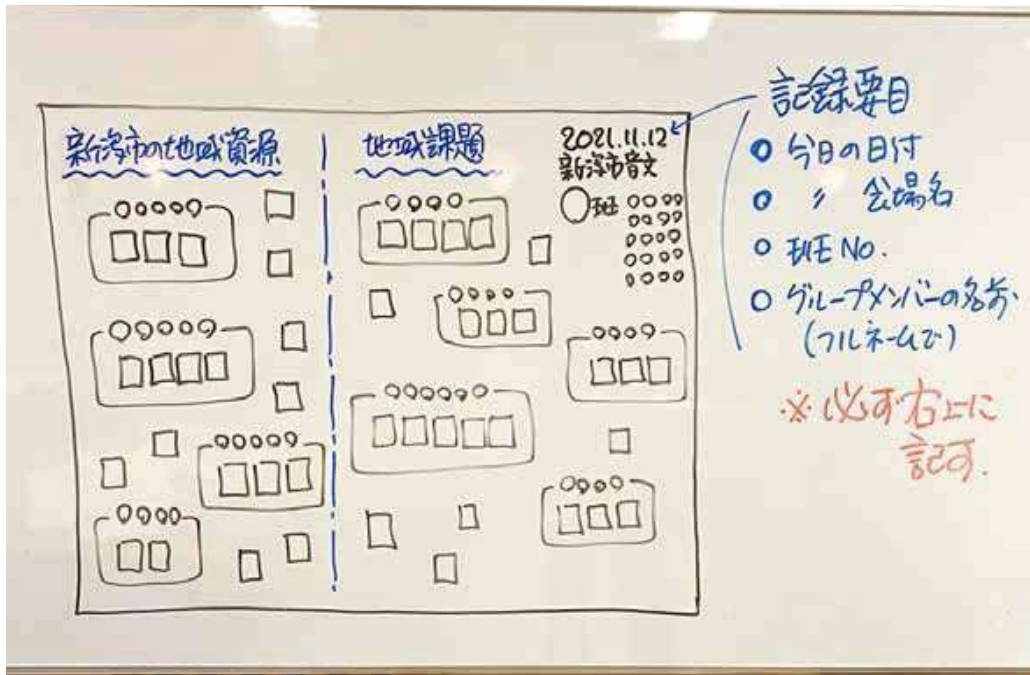
事前に配付した事前課題シートに記入してきた新潟市の理想像と地域資源、地域課題をそれぞれがグループ内で発表し、その後で模造紙の中に整理しながらまとめていくワークショップを行った。



個別発表と整理（午前の部）



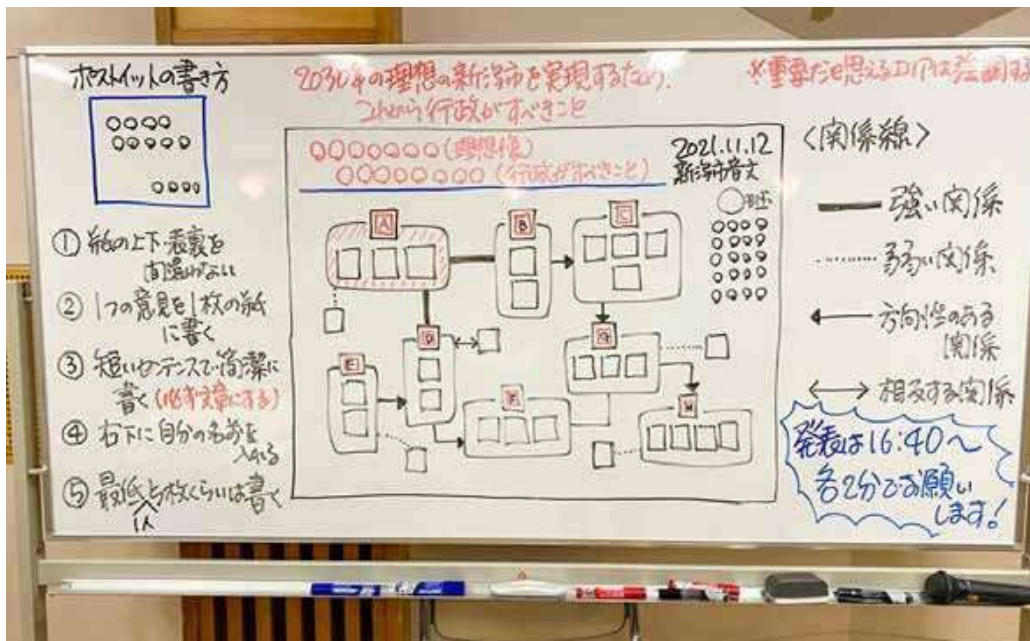
個別発表と整理（午後の部）



整理の仕方を解説したホワイトボード

□メインテーマについての意見交換と情報集約のワークショップ

メインテーマである「2030年の理想の新潟市を実現するため、行政がすべきこと」をみんなで出し合った地域資源や地域課題の結果を基に意見交換し、情報集約を行うワークショップを行った。



情報集約の方法と手順を解説したホワイトボード

ワークショップ当日



個別発表と整理作業の様子

□全体発表（各グループの成果発表）



グループ発表（午前の部）



ワークショップ当日



グループ発表（午後の部）



グループ発表（午後の部）

#### 4. 各グループの作成した成果物

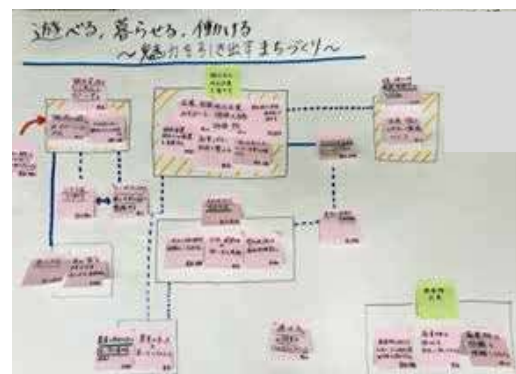
##### 〈午前の部〉 ワークショップで作成した模造紙



1 班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030 年の将来像)



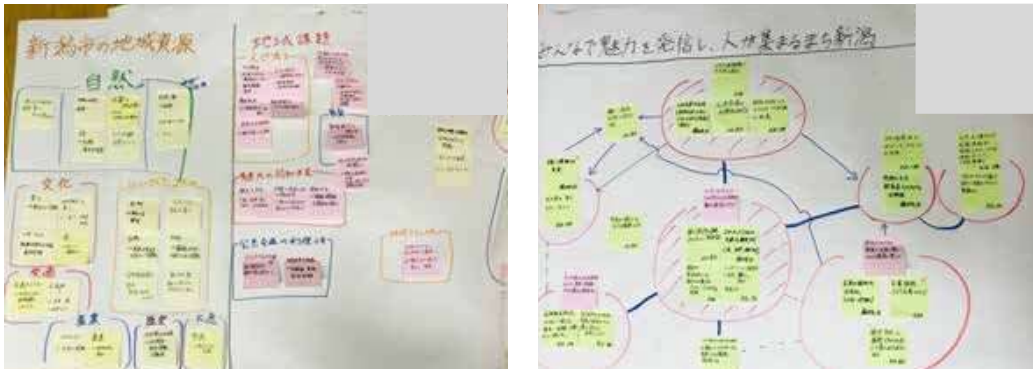
2 班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030 年の将来像)



3 班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030 年の将来像)



4班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030年の将来像)



5班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030年の将来像)



6班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030年の将来像)



7班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030年の将来像)



〈午後の部〉 ワークショップで作成した模造紙



1班 (左：地域資源と地域課題、右：2030年の将来像)



2班 (左：地域資源と地域課題、右：2030年の将来像)



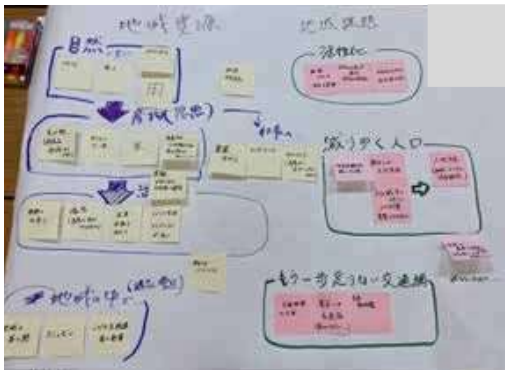
3班 (左：地域資源と地域課題、右：2030年の将来像)



4班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030年の将来像)



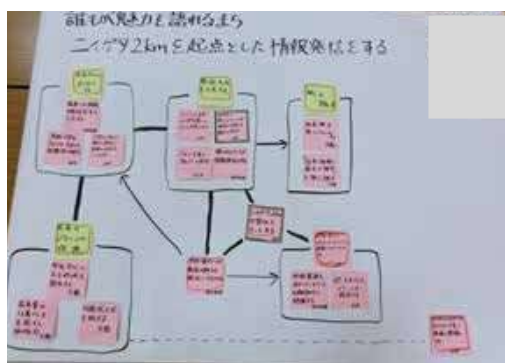
5班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030年の将来像)



6班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030年の将来像)



7班 (左: 地域資源と地域課題、右: 2030年の将来像)



ワークショップのまとめ

5. 成果のまとめ

【各班から出された地域資源とその集約】

地域資源		
班	テーマに対する意見	集約したワード
1	教育機関	観光や暮らしに関わる施設、地元企業
1	保育所数	
1	地元企業	
2	地元企業	
5	図書館が多い	
4	新津美術館 美術と文化が詰まっている	
7	水族館	
2	イベント施設が多い	
7	北方文化博物館	
3	新潟県スポーツ公園	
3	ビックスワン	
7	新潟空港	
1	スキー場	
7	沼垂テラス	
3	関屋浜海水浴場	
7	トキメッセ	
5	イベント会場 ライブハウスが多い	
2	店がたくさんある新潟南イオン	
7	ときメッセ ライブ、コンサートで県外からも人が来る	
7	子ども創造センター	
3	観光資源←魅力的な	
2	ウインターレジャー	
4	観光名所	
1	観光資源←魅力的な	
4	土地が広い →企業の誘致	
7	都市公園が多いこと	
4	充実した医療体制	
4	可住地面積	
5	信濃川流域の火焰型土器	独自の文化
5	鉄道	
1	石油	
2	佐渡世界遺産	
1	温泉	温泉
2	温泉	
3	温泉	
5	温泉(産業を活かせるように)	
5	温泉	
5	温泉 日帰り、泊まり	
4	300年の歴史がある岩室温泉	

6	岩室温泉	魅力的なイベント
6	岩室温泉が良い	
6	岩室温泉	
1	温泉	
2	ダンス	
1	ノイズム(ダンス集団)	
2	おとひげ 人がいっぱい来てる！	
2	酒の陣、食の陣 人がいっぱい来る！	
3	夕日コンサートなど、キレイ	
7	上せき湯公園 わらアート	
1	新潟まつり	地域のお祭り
1	祭り→南区たこ合戦	
1	新潟まつりが楽しい	
4	白山神社 七夕まつりでの風鈴がとても綺麗	
3	祭り タノシイ！！	
5	複数のお祭り	
7	白根大凧	
7	新潟花火が盛り上がる	
3	地域のお祭り、異年齢の交流	
1	地域特有の祭り→色々、特有、特色	
6	商店街	古町を中心とした下町文化
7	商店街	
6	ふるまち商店	
7	古町商店街	
4	情緒の残る古町の商店街	
4	古町 新旧の共存！	
4	古町	
4	伝統文化の古町、芸妓	
4	古町	
5	花街	
5	古町 →栄えてる 歴史	
5	古町 →本来の素材を活かして開発	
5	古町商店街 歴史、開発すればよりよく	
5	古町芸妓、伝統	
5	古町芸妓の文化が良い！！	

ワークショップのまとめ

ワークショップのまとめ

5	古町 歴史がある	
6	下町 歴史的建物	
6	人情あふれる商店街	
4	白山神社	歴史ある神社
7	神社	
7	白山神社	
5	神社、寺 映える！	
7	港街の歴史	みなとまち
4	みなとまち	
7	港町	
1	開港5港	
4	万代シティ	新潟駅とその周辺の賑わい
4	万代シティ 若者が集う	
4	万代 →最新のものを取り入れて開発	
2	新ガタ駅 新しくなってアクセスの中心	
2	新潟駅	
2	新潟駅(リニューアル)オープン！！	
1	万代	
4	都市空間(中央区など)	
2	3本の高速道路	交通機関の充実
2	新潟空港	
2	新潟港	
2	バス路線	
2	新幹線	
3	整備された道路	
3	バイパス	
3	他県とのアクセスがよい	
3	新幹線	
3	交通インフラ →アクセスがよい 新幹線、バイパス	
3	交通の便 →高速、新 →企業ゆうち	
3	交通網の発達	
3	新潟空港	
5	道路網の充実	
5	新潟交通(バス)	
5	交通網	
5	信号がなくて時間短縮につながる新新バイパス	



5	通通勤時間の長さ 東京比較
5	便利なバイパス
6	鉄道が通っている所が多い
6	バイパスが便利
6	上越新幹線 東京まで2時間
6	ル・レクチェ
6	食べ物(おいしい)
6	おいしい食べ物
6	ル・レクチェ
6	おせんべい
6	ラーメン大国
6	日本酒
7	お酒
7	ラーメン大国
7	米菓
7	海鮮
1	農作物
1	ルレクチェ
1	タレかつ
1	米菓
1	食→おいしい、海鮮など
1	水資源
1	日本酒
1	日本酒
2	柿の種
2	ラーメン
2	米菓
2	コメ
3	米
3	日本酒
3	海の幸
3	ラーメン王国
3	黒崎茶豆
3	北区トマト
3	ル・レクチェ
4	越後姫
4	にいがた食の陣
4	米
5	果物
5	食と花
5	海の幸
5	米菓がたくさんある
6	海産物がおいしい
6	ラーメンうまい

## ワークショップのまとめ

ワークショップのまとめ

6	地場産物
6	水がうまい
6	えだ豆
6	野菜、果物がおいしい
6	海産物がおいしい
6	ル・レクチェおいしい
6	お米 米菓にも酒にも！
6	お米おいしい
7	食 おいしい！
7	美味しい米
7	おいしい米
7	おいしい日本酒
7	港町独自の食文化
7	美味しい果物 いちご、ぶどう、なし、もも、スイカ、いちじく、柿…
7	農産物を加工した地場産品
7	農家レストラン
1	美味しい米
2	おいしい食
5	安い料金を利用できるコスボ
5	食べ物(銘産品、新潟ならではの)
6	おいしいお酒
1	米菓
2	海産物 日本海があり食べ物がおいしい
2	海鮮がおいしい(コスパ◎)
4	酒の種類多い、安い(コスパ◎)
1	日本酒おいしい
3	ラーメンたくさん、おいしい
4	越後姫おいしい
6	ブランド 越後姫いちご
7	お米がウマイ
2	米がおいしい
2	米 生産量、おいしい
3	食の陣 集客、おいしい
3	安田ヨーグルトがおいしい
5	ブランド！越後姫がおいしい
4	海の幸にあふれている
1	柿がおいしい
4	ラーメン店が多い
1	越後ビールが有名
2	おいしい日本酒
2	酒造がいっぱい

充実した食

ワークショップのまとめ

4	酒 購入額1位	
4	アルビレックス新潟	アルビレックス等のスポーツ熱
2	アルビレックス新潟	
2	スポーツ施設	
3	アルビレックス新潟	
3	アルビレックスブランド	
3	地域に根差したスポーツ	
3	アルビレックス新潟	
4	アルビレックス 盛り上がりスゴイ!	
4	ビックスワン 国際級のスポーツが開催できる	
4	マンガ、アニメ	
6	マンガ、アニメ	
7	マンガ、アニメ 新潟出身のマンガ家 専門学校	
7	マンガ、アニメ サブカル	
2	マンガ	
3	マンガ文化 有名なマンガ家	
7	マンガ、アニメ文化	
3	マンガやアニメ	
3	マンガ文化、ガタフェス、コスプレ、新潟出身のマンガ家	
3	マンガ、アニメ	
2	マンガ、アニメ 作家、人が訪れるスポットがある	
2	地域をこえたネットワーク	広域的な防災体勢の充実
2	防災広場(避難所)	
5	大河津分水路 →100周年 排水問題を解決	
6	配水ブロックシステム 断分時に少ない範囲で	
6	耐震管(水道)	
6	関屋分水路 洪水を防ぐ	
6	防波堤 過去の経験からより防ぐものを	
5	バイパス 緊急時の円滑な交通	
5	万代橋	
1	萬代橋、万代シティ、新潟の文化財	
2	萬代橋	

ワークショップのまとめ

3	ばんだい橋	萬代橋
7	萬代橋	
7	萬代橋の歴史	
1	萬代橋の(夜景)キレイ!	
7	鳥屋野潟、佐潟	水辺の空間・景観
2	市の中心にやすらぎ堤 ミズベリング	
3	やすらぎ堤	
3	万代島	
6	やすらぎ堤	
3	多様な生きものが集まる福島潟	
1	自然あふれる潟がある	
6	知名度が高い信濃川	
7	信濃川	
6	鳥屋野潟公園	
3	河川	
2	海	
1	信濃川の景観	
1	川の景観	
3	信濃川の景色→自然	
4	信濃川(やすらぎ堤) →キレイ 人があつまる場所	
3	萬代橋から見える景色	
2	やすらぎ堤 夕日キレイ	
5	やすらぎ堤	
2	やすらぎ堤	
7	自然景観(川や海)	
4	信濃川	
3	潟→生物、歴史的背景	
3	日本海→自然	
4	広大な信濃川	
6	景観 みなとまち 日本海の都市	
5	日本海 景観がステキ、海鮮がおいしい	
2	海がある(西蒲区のシーサイドライン)	
7	潟 自然、人集まる	
7	日本海の景観がきれい	
4	つり、魚、川、海よい	
1	海	
5	日本海に沈む夕日	

ワークショップのまとめ

1	日本海の夕日→キレイ	自然に囲まれている環境
3	夕日	
1	きれいな夕日	
6	山	
3	景観のよさ	
1	雪	
3	自然豊か	
3	角田山	
5	春夏秋冬を感じられる	
5	四季の風景	
7	チューリップ	
7	チューリップ	
7	弥彦の町	
2	田園風景	
7	田園風景 景観というイミでも	
1	自然 豊かな	
2	粟島	
4	砂丘文化	
4	豊かな自然 海、山、川、夕日	
4	広大な田園風景	
5	田	
6	里山がある	
6	田園風景 四季を感じられる	
7	ほどよい雪 豪雪でもない、降らなくもない	
1	海と山の立地 自然豊かなのが魅力	
5	田園風景 景観というイミでも	
6	四季を感じられる秋葉山	
1	チューリップがキレイ	
1	自然と都市を感じられる街	都市と自然のバランスがいい
2	立地	
2	都市と田園	
3	都心部と自然の共存	
6	都市と自然の調和	
3	都市と田園が調和する町	
4	自然と都市のバランスが良い	
2	都市と田園の調和	
6	個性ある8つの区(特色があり観光よい)	8区それぞれに特色がある
6	8区の特色	
2	8区それぞれ魅力がある	

ワークショップのまとめ

7	待機児童0ゼロ 子育てする環境が整っている	子育て環境
6	たいき児童ゼロ	
5	地域のつながりが残っている	
7	すこやかパスポート	
6	子育てがしやすい	
7	保育所が多い	
5	こども支援課等の部署	
7	農業	農業がさかん
2	農業 →田畑が広い、有名	
4	食料自給率政令市1位	
5	農業さかん	
6	アザレア 特産品	
6	市民農園たくさんある	
3	老若男女あつまる、いくとぴあ	コミュニティ施設や世代間交流
3	地域包括支援センター (老人のお困りごと、なんでも相談)	
3	学生の体験学習ができる、ゆいぽーと	
4	公民館	
4	地域で解決 地域の茶の間	
4	母子が他とのつながりを作ることができる子育て 支援センター	
5	地域の茶の間	
5	コミュセン	
4	若い人材	人材及びその精神
5	市民 →町づくりの主役	
6	パートナーシップ	
1	會津ハー	
5	ものづくり(産業が衰退しないように)	
3	フロンティア精神	
6	美人が多い	
7	人が優しい	

【各班から出された地域課題とその集約】

ワークショップのまとめ

地域課題		
班	テーマに対する意見	集類した課題
1	BRTや低炭素化すすめては？	公共交通のあり方
1	交通の便が悪い(車がないと不便)	
1	自動車依存からの脱却	
2	公共交通が弱い、少ない	
3	交通網の維持	
3	交通渋滞	
4	公共交通の利便性 自家用車依存、観光客も使うから	
4	自家用車の依存 →高齢者事故、免許返納	
6	公共交通の維持 高齢化により	
6	交通の便 →中央以外の交通の便が悪い	
6	新潟空港の利用者減少	
7	交通網の悪さ	
7	新潟空港へのアクセス悪い&空港から観光地アクセス悪い	
7	観光地が点在していて、車がないと行けない、アクセス悪い	
1	交通アクセスが良い	
1	都市直通の交通インフラ	
1	道路の渋滞	
4	交通の便の悪さ	
4	公共交通ネットワークの利便性向上	
4	公共交通機関が発達していないので、車を利用してしまい運動不足になる	
5	交通機関の不便	
5	集客には交通面(車がメイン…)	
5	交通、雪の問題	
5	郊外の交通網の不便さ	
7	公共交通機関の整備	
7	道路整備	
7	車社会	
1	観光客、就職を考えている人にも選ばれる住みやすいまち	
1	人口減少	
1	少子化	
1	少子高齢化 特に介護	
2	20代の転出	
2	出産、子育てする人の減少	
2	少子化	
3	人口の減少	
3	若者人口の流出	
3	若い人の割合	
3	少子化	
3	子育て支援	
3	高齢化社会(健康寿命)	

ワークショップのまとめ

4	人口減少 →人がいないと活性化しない 社会動態 自然動態
4	人口減少(都市部に流出) →経済低迷 地域の活力低下
4	若者流出 →将来減ることを防ぐ
4	出生数減少 →人口減少防ぐ
4	若者の永住促進 →都市部への流出
4	雇用、子育て充実 ライフイベントは定住するキッカケ →関係するものの充実が必要
5	合計特殊出生率が低い
5	農村地域の過疎化
5	就職で市外に出て行くこと
6	若者の人口減 遊ぶ場所がない
6	地域から若者の流出 →将来の若者が減ると活気も減り、問題
6	関東圏への人材流出
6	高等教育の充実 土木の大学、工科の大学の充実
6	子ども出生率が低い 右肩下がり的人口→税収低下
7	高齢化の対策
7	高齢化と人口流出
7	人口減少
1	人口が多 政令指定都市
1	人口減少が進んでいる
1	若者の流出
1	働く世代の人口流出
1	学生流出
1	移住者の不足
1	子育てする環境をより良くする
2	若者の流出 地元の魅力に気づいてない
2	地域から若者が流出している 若者が減ることを危惧 税収が減少
2	若者の流出 新潟市の将来を担う若者が減ることを危惧
2	若者が東京圏に流出 →子供も減る、人口も減る、負の連鎖！

少子高齢化と人口減少に対する  
対応



ワークショップのまとめ

2	中央区への集中化 中央区以外の区の人口減少を危惧
3	子どもが数が少ない
3	少子化
3	少子化
3	若者の流出を抑制する
3	市外への人口流出
4	転出者の増加
4	若者世代の流出
4	高等教育 環境の活性
5	少子高齢化 特に介護
5	県外への人口流出
5	人口減少に対して、どう政策、集客できるように
6	人口流出、高齢化
6	人口減少
6	人口減少
6	地域からの若者流出
1	若者の人材流出
6	子どもの減少、出生率低下
6	出生率の減少
7	若年層の関東圏への流出
7	子育てがしづらい
1	自分らしく生きられる街
2	遊びに行く場所
4	観光の周知 →食、自然等の魅力、他県無知
4	観光資源の不足+周知不足 →魅力を伝えれば訪れる人が増える
4	周知不足 →情報媒体を有効に使う
4	教育機会を増やす →地域資源を知る
4	田んぼの風景 →にいがたならではの
4	都市と田園の調和 ちょうどいい 共存
5	新潟市民が魅力に気づいていない
6	新潟市ならではの産業や強みの確立、強み作り
6	特産品のアピール →発信力不足を感じる
7	ランドマークがない
7	中心部のにぎわい不足
7	古町 街並キレイ、古着屋さん多い →人が少ない！！

ワークショップのまとめ

7	夜10時以降に遊ぶ場所がない	地域資源を活用した魅力づくりと 魅力の発信	
7	アピールがヘタ		
1	風情ある商店街		
1	中心部の空洞化		
1	観光名所が少ない		
1	遊ぶ施設が少ない		
2	都市圏の若者へのPR不足 →コロナで地方に注目！もっととりこむべき！		
2	自信をもってアピールできる点が少ない		
2	県外にニイガタの魅力が伝わってない →魅力があれば人が集まる！		
2	良いところが広まってない、分かってない		
2	新潟市といえば〇〇というインパクトある資源がない		
2	魅力的に感じる環境が少ない →あれば若者がくる！		
3	地元の魅力を知ってもらう		
3	ブランドとなるものの不足		
3	路地等の環境美化		
4	古町衰退		
4	PR力が低い		
5	新潟2Kmの周辺の整備		
5	古町の人流が減少 拠点の点在化		
5	中央区以外の認知度の低さ		
6	何度も来たい場所が少ない(観光のリポート×)		
7	市の良い所が分かりづらい		
7	ランドマークへの劣等感		
7	行政のPR力		
7	住民のPR力が弱い		
1	魅力が伝わっていない(伝わらないと選ばれない)		
7	強みを市内に発信できない		
7	米の印象が強すぎる		
1	お米にたよらない食料自給率のUP		
1	米だけ？ル・レクチュエが有名ではない？		
1	魅力ある産業であふれる活力あるまち↑		魅力ある企業の創出、働きやすい環境づくり
1	古くからの繁華街のシャッター街化		
1	開業率の低迷(ワースト7位/20位、開業しづらい)		
1	企業が少ない→市内外の人にえらんでももらえない		
1	誰もが働きやすい職場づくり		
1	給料		
2	起業が少ない		
2	魅力ある雇用先が減っている		
3	中小企業の育成		
3	新たな産業の創出		
2	農業の担い手不足		
5	働ける世代が仕事に就けないこと		
6	低所得者や外国人などの必要な生活基盤の整備 →働き手が増える		
3	賃金の低さ		

ワークショップのまとめ

3	農業の後継者不足		
5	人材不足(病院、かいもの、保育施設)		
1	人々が集う場所づくり	地域のつながり強化、地域活力の向上	
1	文化にふれる場の提供		
1	人々が交流し笑顔で暮らせるまち ↑		
2	地域のつながり希薄化		
4	地域コミュニティのつながり強化 →祭りなど通して安心・安全		
4	郊外地域の高齢化 →地域で支えていく必要がある、中心部に引越は困難		
5	近所とのつながりが希薄になっている		
4	地域住民のつながりが希薄		
1	地域活性化を具現化する新潟市		
4	地域行政への無関心 →市民の意欲が必要 行政に関心もてる施策が必要		
5	地域活力の低下		
5	子供の見守り体制が弱い(地域による見守り)		
2	公共建築物が多すぎる		未利用地や空家、老朽化した設備などへの対策
2	建築物の老朽化 未利用地が多い		
2	空き店(地)		
5	除雪が行き届いていない		
5	施設等の老朽化		
7	建築物の老朽化		
7	公園の整備		
1	インフラの老朽化		
6	老朽化するインフラ施設		
7	身近な住環境の整備		
4	空き家の増加		
1	広大な土地		
1	広い土地		
1	広い土地が余っている		
2	建物の老朽化 新しく参入する企業が入れない →参入すれば人口増える、発展する		
6	空き家問題多い		
6	建物の老朽化		
6	シャッター街が多い		
2	ごみ排出が多い	脱炭素、ごみのリサイクル対策	
2	廃棄物の再利用		
4	気候が悪い		
2	再生可能エネルギー		
7	温室効果ガスの削減		
3	地域医療	医療の充実、健康寿命の延伸	
3	老々介護		
3	元気な高齢者を増やす		
3	運動不足(車に頼りがち)		
4	医療資源と社会資源の偏りが大きい		

ワークショップのまとめ

3	防災	防災意識の啓発
5	防災意識の低さ	
5	避難時のユニバーサルデザイン	
6	ハザードマップ周知 なかなか知られていない	
7	ムダな税金の使い方	財政運営
2	市の財政状況悪化 →お金がないとなにもできない	

【各班から出された新潟市の将来像とその集約】

ワークショップのまとめ

新潟市の将来像		
班	テーマに対する意見	集類した意見
1	男性育児休業取得奨励金の強化	安心して子育てできる環境を整える
1	子どもを育てやすい環境を整える	
2	出産、子育てしやすい環境づくり	
3	子育て支援のサービスを増やす	
3	働きながら子育てしていけるように支援を行う	
3	子育て支援として、資金援助や子どもがいても働ける環境を作ること	
3	支援者のいない妊産婦に対して新潟市での子育ての情報提供を行う	
4	子を産み、育てやすいまちに	
5	新潟市で子供を産み育てることのメリットをたくさん作ります(サービス、支援機関増)	
5	出産前からサポートが受けられることを広くPRする	
5	子育てがしやすいまちであることをアピールすることで出生率の低下を防ぐSNS	
6	子どものいる家庭への支援策を強くアピールする	
7	子育てしやすい環境(保育園、ひまわりクラブ)をもっと整える	
1	保育所を増やし共働き世帯の子育てを支援する	
1	子育て支援	
1	育児のための助成金の制度を作るor拡げる	
2	住環境、子育てがしやすいよう支援を強化する	
3	企業の男性育休取得者をふやすために、企業への報酬をふやす	
3	育休、産休取得の事業所に助成金	
3	子育ての支援金を手厚くする	
3	第三子以降は全て無料 保育料、医療費、学費	
3	公立の幼稚園を建てる	
3	こども園の数をふやす	
4	子育てへの給付金	
5	育休率を上昇させる	
6	子供の遊び場を増やす	
6	結婚、出産、子育てを支援する	
6	より子育て支援を手厚くする	
7	地域のつながりを活かした子育て環境の整備をする	
1	次代の担い手の育成を主導する(農業、林業、水産業等)	
1	幼少期から文化に触れる機会をつくる。(教育にくみこむ)	
1	小さい頃からの地元産業とふれあう機会のそくしん	
4	義務教育期間に、地域に関する教育・体験の機会を増やす	
5	総合的な探究の時間、課題研究等で地域の学校と協力して予算をおさえられないか?	

ワークショップのまとめ

2	学校教育で新潟市の魅力を教えて若者にPRしてもらう	地域特性・地域資源を活かした教育により、地域愛を醸成する
2	子どもたちに、小さいときから新潟の魅力を学校で教える	
2	子どもたちに歴史や文化を学んでもらう機会をつくる	
3	小中高生に向けた地域魅力発見、創造の授業を行う	
3	小中学生に農業の良さを知ってもらう	
4	10～20代の学生に対し、訪問し、授業の中で新潟のよいところを考えてもらい、県外移住をふみとどまってもらう	
5	新潟市の特性を活かした学校教育を充実させる	
1	既存のスポットや資源のPR。(広報に力を入れるお金をかける)	新潟の魅力を積極的に情報発信する
1	観光スポットをPRし、県内外・国外の人にも魅力を伝える(Instagramとか?)	
1	地域のPR	
1	市外、県外在住者に対して取り組みをアピールする	
1	豊かな食文化を新潟飯として(ブランド化)県外にPRする	
1	新潟の食文化をPRする	
1	海にまつわる文化を一括してPRする	
1	電子機器や、インターネットを使った情報発信	
2	SNSを使い、他県の方へ魅力を積極的にPRをする	
2	「新潟で遊ぶ」イメージのPR	
2	知名度の低い観光スポットをPRする	
2	食のPR	
2	市内の未利用地情報を一元化する	
3	お米に頼らないグルメの発掘発信をする	
3	なんで新潟の〇〇がいいのか、情報発信をする	
3	観光名所をSNSを使ってPRする	
3	市の魅力を発信するコンテンツや情報ツールの活用	
3	新潟市の魅力をSNSでの情報発信にさらに力を入れる	
3	SNSでのPR専門部門を設置する	
3	民間や市民が自発的にPRする活動に対して、技術的又は財政的支援を行う	
3	新潟である意味を見つける	
3	行政自身がきちんと新潟市の魅力を理解すること	
3	町の対外的なイメージを確立させる	
4	バス停や電車の中などにPR文をはったりする	
4	ネットを通じて新潟の良さを発信していく	
4	Youtubeの広告など、人目につきやすいツールを積極的に活用したPRを推進する	
4	ニュースや新聞などで記載したり伝える	
4	市民が転出したまちでのPR活動	
4	インターネット(SNS)を使った観光PR(食、自然、歴史、文化)	

4	市内外への魅力の発信 アニメ、マンガ等を活用
4	新潟市の魅力をもっと周知する
4	新潟市民が地域資源を発表できる場を設ける制度をつくる！
5	新潟市の良さを市民に向けてPRLし、再発見してもらう
5	広報活動に力を入れる。 市の制度等を知らない人も多い…。
5	SNS等を活用し市の魅力を広げる
6	全国に向けた新潟の強みをアピールしていく
6	岩室温泉をもっとアピールしていく。全国的に
6	各種ツールを使い情報発信に力を入れる
6	地域の魅力をあらゆる人に発信する
6	野菜や果物等、酒や米以外も魅力のある特産物が多いため、TVやSNSを通じて幅広くアピールする
7	若者への情報の発信方法を工夫する
7	大学生へ向けた魅力の発信で若者の流出をくい止める
7	粟島の魅力をSNSでアピールする
7	SNSを活用した若年層へのPRを充実させる
7	SNSを通じ魅力の発信
7	市内外へ、様々なツールや場所を活用した魅力の発信
7	様々なかたちで情報発信をする
7	市内、県内への新潟の魅力の発信に力を入れる
7	ニイガタ2Kmの宣伝をもっとする
7	「日本海側最大の都市」を強く推す
7	海産物を強くアピールする
1	新潟市産の食料食べようキャンペーン！！
1	文化に対し助成や施設の貸し出しを行う
1	米、日本酒以外の特産物のブランド化
2	市の”食”をPRできるイベントを企画する
3	若い世代を集める為GoToトラベルのような新潟独自のシステムをつくる
3	グルメと観光名所で若者を呼びこむ
3	みなとまち、観光名所の散策マップを作成し、観光客、市民に周知する
4	市民が関心をもてる施作をする
4	マンガ・アニメ情報館を活用し、魅力を発信する
4	歴史文化と最新どちらも近くで楽しめるまちにする
4	市民がやすらぎ堤で自由に活動ができるよう整備する
4	地域資源を活かしたイベントの企画
4	行政による飲食店フェスティバルの開催
5	新潟市の長所を老えさせずさらに伸ばすこと
5	新潟市の魅力を発信するイベントを開催する
5	地域活動(イベント)を増やすこと

ワークショップのまとめ

5	食の魅力をアピールし、他のワークショップ等とコラボする。まちづくり参加したら〇〇食べれる…など	
6	観光スポットのアピールを行うため市が助成金を出す	
6	古町商店街への新たな店の誘致	
6	中心地で特産物を食べられる施設を作る	
6	国内外から集中される施設(商業)で作るカミツとか…?	
6	農産物を全国で販売していけるようにする	
7	若い人が新潟に住みたいと思える街にする。Uターン、Uターンをしたいと思える政策をしてほしい	
7	万代、古町のおすすめスポットなど発信する市民グループを作る	
7	もっとやすらぎ堤を利用すればいいと思う	地域資源を活かしたイベント等の取り組みを強化する
7	粟島さら地にして遊園地を作ろう!!	
1	特産物などの収穫体験ができる場所をつくる	
1	新潟の食をアピールするイベント	
1	人を呼び込めるイベントの開催	
2	移住体験や新潟市1泊2日観光などのイベントを多く行う!!	
2	ふるさと納税に新潟市の美味しい食べ物をアピールする	
2	歴史的なまちを守るための事業を行う	
2	観光スポットをつなげる(まちあるき・バスルートなど)	
3	市外からの観光客に対して割引クーポンを発行して来てもらいやすくする	
3	マンガやアニメの日本最大規模のイベントを行い新潟市の知名度を上げる	
3	地域資源の良さを知ってもらうため写真コンクールを行う	
4	東京で新潟市の食べ物のフェスを開く	
5	新たな銘産品のための助成を行う	
5	田園都市として生産と産物の恩恵を受けられるまち	
5	新潟にしかない魅力ある施設づくりをする(食、自然文化など)	
5	地域を盛り上げられるイベントで、多くの人をひきつける	
5	今ある場所、食を活かしてイベントを開催する	
5	食では各駅など訪れた際に試食などで来た人に知ってもらう	
5	地域ならではのものづくり体験会を通してふれあいの場を設ける	
6	各地区での観光資源の開発、強化をする	
7	地域資源を活かしたイベントを積極的に開催する	
7	自然を生かしたイベントを開催する	
2	土地、建築物の使い方を見直す	
2	空き地(店)を有効利用する	
5	老朽化した施設の再開発について、市民が意見を出せる場を提供する(ワークショップなど)	



ワークショップのまとめ

5	老朽化した建物の整備と、それに伴って新たに企業を誘致できるオフィスを作ります	既存の施設などを充実させ、利用しやすくする。
6	老朽化する施設を何年先も利用できる建物に建て替えていく	
6	新潟空港の施設を充実させる	
6	新潟空港の利用者数を増やすため、周辺の海水浴場や使用していない滑走路の有効活用を検討する	
1	施設の管理	
1	施設の再編や統合	
6	空き店舗を利用しやすく整備する	
4	将来に渡って、市民の方々に愛着度と定住意向を感じてもらえる町	将来に渡って、住み続けたいと思えるまちをつくる。
4	人々が健康で生涯その街で暮らしたいと思えるまち	
4	ずっと住みたいと思えるまち	
4	ずっと暮らしたいと思えるまち	
1	市(本庁)と各区役所との連携を密にする	本庁と各区役所など、組織横断的な連携を強化する。
1	例えば、南区と北区、江南区とで合同の「果物祭」を企画し、交流を図る	
2	個別に観光を行っている8区の連携度を向上させる	
7	隣接区同士で合同でイベントなど開催する	市民や地域など、多様な主体との連携、協働を強化する。
1	大学等の教育機関との連携強化	
1	地域との「共働」で道路の除雪を検討する	
1	大学と連携を深め、学生に新潟の良さを知ってもらう	
2	官民で協力して人が集まるイベントを作る	
3	介護施設+保育園のような介護と保育が融合する施設をふやす	
6	市民の協力を得やすい環境を醸成する	各「区バス」の連携を図る
1	観光地までの道路などを行きやすいように整備する	
1	各「区バス」の連携を図る	
1	市街地のバス 路線以外の「区バス」の運行	
1	BRTの改善→のりやすいバスに	
1	新たなバス路線の開拓	
1	バス乗り場の充実	
1	公共交通を整備→バス・電車を利用することにインセンティブを設けては??	
2	公共交通を増やす	
3	駅を増やす	
3	交通網を整理し、場合によっては代替手段を検討する	
3	幹線道路の通勤、帰宅ラッシュ時の渋滞緩和の為、新しい道路の建設。(新潟中央環状線の様子を見てから)	
4	公共交通の充実(電車が通っていないエリアへのバス充実)(南区)	
4	公共交通の利便性をあげる	
4	郊外地域へのアクセス(公共交通)の改善	
5	郊外で暮らす人々に対し、タクシー代を助成する(バス、電車の代替でタクシーの利用促進)	

ワークショップのまとめ

6	新潟空港の路線を増やし、全国との交通アクセスをよくする
6	公共交通機関の充実をはかる、バスの本数を増やす等
6	市内バス停を増やすために、新潟交通と協力し特に不便な地域を調べる
7	数年後にガソリンがなくなっていく中、車だけにたよらず観光できるように整備しなければなら
7	公共交通機関を充実させる
7	新潟空港から中心部へのアクセス強化する
7	パークアンドライドの拠点を増やす
7	観光地へのアクセス網を整備し経済を回す
7	新潟空港から中心部へのアクセスが悪いと思うから、路線バスの便を多くしたりすると良いと思う
1	バス路線を見直す
1	公共交通網を充実させることで、渋滞を緩和させる
1	渋滞道路の見直し、リニューアルをする
1	万代、古街に無料駐車場をつくる
2	農村部への交通手段を整える(バス・電車)
2	交通の見直しをする(観光ルート)
4	天候の悪さが気にならないように交通の便を充実させる
4	バイパスや線路の改良を行い交通機関の利用数を増やしていく
4	電車、バスの本数を増やす
4	電車の本数の増便
5	移動しやすい交通網を整備する！
5	市内全域の交通網整備
5	交通網を増やす(バスだけでなく)
5	拠点へのアクセス向上をさせる
5	道路を整備する！
5	バイパスをもっと便利に(渋滞解消、雪対策)
5	バスの遅れの緩和、車や自転車で移動しやすくするために道路を整備する
1	賃金を上げる
1	企業を誘致(インセンティブをつける)→若者、就職を考えている人にPR！
1	Uターンサービスの強化
1	人材(クリエイターや資格を持つ人材)を求める企業と、有能な若者のマッチング
2	企業、就職のサポート
2	地元企業、地元での起業を支援する
2	地元企業、団体の活動評価、PR
2	起業しやすい制度を整える
2	最先端の業種、雇用先を増やす
2	「食」を活かしたベンチャー企業を支援する
2	サテライトオフィスをつくり、大手企業を呼びこむ
3	若者がやりたい職種の誘致
3	コロナ渦での失業者に対して支援を行う
4	働く選択が広いまちにする

公共交通の整備・充実を図る

ワークショップのまとめ

4	誘致だけでなく、実際に企業を構えられる環境を整える	企業誘致を強化し、若者の就職・雇用を充実させるなど、働きやすい環境を整える。
4	企業の誘致の活性化(土地、建物)	
5	民生委員の役割を広め、なり手を増やす	
5	失業者を把握し再就職に向けて手を差しのべられる仕組みをつくる	
5	若者が働ける企業を誘致する	
5	新潟市の職の幅を広げること	
7	労働人口増やして税収増加	
7	若い人が働きやすい環境づくり	
1	職種の幅を充実させる 企業の誘致を図る	
1	企業誘致のために、オフィスビルの建設をする	
1	企業誘致を目的とした民間との連携	
1	町中心部への企業誘致(テナント代を一部助成するなど)	
1	若者の県内就職を促進する	
2	食に関するイベントを行い、食品系の会社を新潟移転できるよう、働きかける	
2	若者や企業に金銭的支援を行う	
2	老朽化した建物を改築する(会社のオフィス等で、使用させるため)	
3	法人税を引き下げる	
3	中心部の土地を整理する	
3	最低賃金を条例で上げる	
3	保育士の賃金等の待遇の改善	
3	介護士の賃金等の待遇の改善	
5	若者が集まれるような商業の誘致	
5	雇用を強化する	
5	新規の企業の立ち上げ促進をする	
5	オフィス街を作る	
5	働きやすい労働環境の整備	
6	若者が働きたいと思える雇用を創出する	
7	高校、大学生向けの市内の就職先の紹介	
2	農業の良い点を若い人に伝える	農業への支援、魅力の発信などを行い、新規参入を促す。
5	農業をやりたい若者(県外の人)に対してサポートを行う	
5	農村地域で暮らすことの魅力を発信し、若者を呼びこむ(SNS等)	
6	農家を減らさないよう、負担を減らす支援をする	
4	気候を利用して農作物を増やす	
5	稼げる農業へ支援	
2	廃棄物を減らすためのゴミの再利用対策を検討する	住民参加の美化活動、ごみのリサイクルなどへの取り組みにより、豊かな自然を守り、美しいまちを保つ。
2	廃棄物の現状を市民に知ってもらう	
2	廃棄物の問題を理解してもらう	
1	豊かな自然を守るために、ゴミ拾いなどの住民参加の企画を行う	
2	「逃げ方」の周知(マイタイムラインなど)	

ワークショップのまとめ

2	建物の耐震化、外観整備	
3	過去の災害を通して市民と共に防災について考える機会をつくる	
3	時代にあった除雪計画を立てる	
5	若い世代のための防災講座等を計画する 子ども向けのものはあるが、20代～30代向けにあるとよい。SNS活用？	防災意識の向上と災害対策の強化を図る
5	SNS、回覧板等を利用して市民の防災意識を高める	
5	協力してくれる民間企業等に助成…？（除雪など）	
6	災害対策を強化する（周知を徹底する）	
6	安全性の高い建物とするため、計画的に改修する	

## 【午前・午後のチームが作成した全体統合文の集約】

午前・午後の各班が導き出した  
「2030年の新潟市の理想像と、実現のために行政が行うこと」

## 安心して暮らし続けられるまちをつくる

- ずっと住み続けたいまちであるために市民に魅力を発信し、安心安全な環境をつくる（午前5班）
- 税金を正しく使い、誰もが暮らしやすいまちへ（午前7班）
- 市民が健康で、愛着をもって生涯定住したいと思えるまち（午後4班）
- （市）区民がくらしやすいまち～各区の拠点整備をめざしたまちづくり～（コンパクトシティ）（午後5班）
- 安心して暮らせる活気ある新潟市 市民と協働し、ニーズに応える施策（午後6班）

## まちの魅力を引き出し、効果的に発信する

- 遊べる、暮らせる、働ける～魅力を引き出すまちづくり～（午前2班）
- 誰もが来たいと思う町にするため、シンボルを作り、魅力を高める（午前6班）
- みんなで魅力を発信し、人が集まるまち新潟（午前4班）
- 誰もが魅力を語れるまち ニイガタ2Kmを起点とした情報発信をする（午後7班）

## 新潟への誇りと愛着の醸成を図る

- 住民が新潟市に誇りを持ち住みつけたいと思える、そんな街。（午後1班）
- 新潟市好きを育て、生み出すまち 市内外に魅力をPR！！（午後2班）

## 若者が働きやすい環境をつくる

- 誰もが魅力を感じる暮らしやすいまち新潟 若者が就職しやすい環境整備（午後3班）
- 「若者でにぎわう活力あるまち」に向け、雇用・観光・環境整備の点から地域活性化を図る。（午前1班）
- 若者が来たい、住み続けたいと思ってもらえるまちにするために行政がすべきこと（午前3班）

## 6. ふりかえりシート（研修後のアンケート）のまとめ

# ふりかえりシート

Look back sheet

2021.11.12

今日一日を振り返って、下記の質問にお答えください。

Q1 ワークショップ全体（内容・運営）について  
(該当する枠の中に○を付けてください)

とても満足した	満足した	普通	不満だった	とても不満だった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q2 Q1 でそう思った（そう感じた）理由は何でしょうか？

.....

Q3 本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？

.....

Q4 本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことはなんですか？

.....

Q5 本日のワークショップで学んだことを、今後、業務にどう活かしていきたいですか？

.....

Q6 その他、気づいたことなどがあればお書きください。

.....

どうもありがとうございました。

## 〈Q1〉全体の満足度

平均値 4.28 (午前 4.29 午後 4.28)

(とても満足した：5 満足した：4 普通：3 不満だった：2 とても不満だった：1として算出)

## 〈Q2〉Q1でそう思った理由は？

### ■とても満足した (24名)

- ・新潟市の魅力について、再確認・検討する場に来たため。
- ・ワークショップを通じて、新潟市の課題や良さをより理解することができたからです。
- ・新潟市で住んでいても気付くことができなかった魅力、地域の課題などを知ることができたから。
- ・普段から考えている新潟市の良いところや改善点など、人と意見交換することで、より深く考えることができた。
- ・様々な職種の人と一緒に市について考えることで、いろいろな観点から課題や強みについて把握することができたため。
- ・様々な分野の職員と意見交換できたから。
- ・市役所の内でも色々な人と色々な見方で意見交換できたから。
- ・意見交換が楽しかった。
- ・普段、関わりが無い同期の方々と話す機会があったため。
- ・色々な人の意見を聞くことができたから。
- ・グループで楽しく話し合っ、色々な他の人の意見を聞くことができたから。
- ・意義ある話し合いをすることができたから。色々な意見を聞き、勉強になりました。
- ・身近な地域の課題について、多くの方と意見交換ができたため。
- ・自分の部署以外の若い方の意見・考えを聞けてためになったため。
- ・他の班の発表や同じ班の人の意見から、新たな発見があった。
- ・自分が考えている新潟市の課題とは別の、違う人が考えた意見を聞くことで、これからのとり組みが明確になったから。
- ・何を目標に決めるのかが明確に分かったと思いました。
- ・自分自身の考えをまとめることができたから。
- ・新潟市をよりよいまちにするにはどうしたら良いか、ものすごく考えて悩んだから。
- ・初対面の方が多く中でアイスブレイクを通じて仲良くなることができ、スムーズに意見を伝えることができた。
- ・進行がスムーズで楽しく受講できました。
- ・発表までの議論の展開がスムーズに設定されていると感じたから。
- ・説明が図を用いていて分かりやすかったです。時間配分がちょうどよかったです。
- ・多様な意見・アイデアをまとめる方法を学ぶことができた。
- ・皆で意見を出し合っ、より良いものを生み出していく実感や、多くの意見を取り入れることでより多くの人を対象にしたものができると感じられたから。
- ・グループワークをする機会がなかったので、自分では言語化できなかったり気づけなかった視点を他の方に共有してもらうことを良い刺激に感じた。
- ・普段ワークショップをする機会がないので貴重な経験が出来た。

■満足した（38名）

- ・ 普段の業務では関われない他の新人職員との交流を深められたから。
- ・ 普段市役所の職員とふれ合うことが少なかったなのでこのワークショップでふれ合えたので良かった。
- ・ 様々な部署、環境の異なる方々と意見交換する事が出来て有意義でした。
- ・ 普段関わりのない職員のみなさんと楽しく学ぶことができたから。
- ・ 初めて話す、職種も違う同期の方々とこれからの新潟について沢山意見を交わし、考えることができたから。
- ・ 業種・年代の違う方と話し合い、コミュニケーションをとりながらワークができたから。
- ・ グループ内で今後の新潟市の地域課題について考え、他の人がどのようなことを考えているか知ることができました。また、はじめて話す人ばかりですが、きちんとコミュニケーションを取ることができ楽しくワークショップが出来ました。
- ・ 自分は「これをしたい、こんなまちにしたい」と思って就職してきたことと、同様の考えをもっている職員がいて、その中でどのような課題、施策があるのか、といったことを話し合うなかで、新たな発見があった。
- ・ 自分一人では、気付けなかった新潟市の魅力・課題をグループ全体で発見することができたから。
- ・ 新潟市の魅力として、自分が考えなかったことなど、他の人の意見をきくことができとても興味深かった。
- ・ 自分が考えたこともなかった課題がでてきて勉強になった。
- ・ 様々な視点から新潟市の魅力や課題をとらえて考えることができたため。
- ・ 市内外の出身職員がいたため、別視点の意見を得やすかった。
- ・ それぞれ課が異なる班でのワークを通じて色々な視点から新潟市を捉え、知ることができたから。
- ・ いろいろな方の意見をたくさん知る事ができた。
- ・ 様々な意見を聞くことができたから。
- ・ 個人では考えつかない意見を聴くことができた。またそこから自分で考えることができた。
- ・ 各部から見た新潟の特徴や課題など多くの視点から新潟の今を知れた。
- ・ 楽しかった。新潟市の魅力・課題が分かった。
- ・ 新潟市のことをもっと知ることができた。
- ・ 新潟市全体のことについて考えることが久しぶりだったので、いい機会となったから。
- ・ 新潟市に対して、深く考える機会となったから。
- ・ 普段の業務の時にはあまり深く考える余裕のない新潟市の将来について、時間をとって課題やその解決法を考えることができたから。
- ・ 新潟市の街づくりについて改めて考える機会になったから
- ・ 行政の、新潟のこれからの課題について再認識できたから。
- ・ 改めて新潟市の魅力や課題を深掘りする良い機会となった。
- ・ 新潟についてそこまで深く考えることはありませんでした。新潟のことをここまで真剣に話し合い深めあうことで初めて気づく新潟の良さに出会うことができました。
- ・ ここまで新潟市について考えることは今までなかった。
- ・ 自分たちが住む新潟市の課題を改めて感じることができ、行政すべきことを



- 見つめることができたため。
- ・今後、新潟市の職員として働いていく中で、根本的な問題点（新潟市の）を改めて見ることができたから。
  - ・今後の仕事に生かせる点、自分自身でも取り組んでいかなければ行けない点に気づいたから。
  - ・自分の気付けない部分を魅力や強みと感じている人がいることを知ることができた。
  - ・最後、発表できるまで至ったため。
  - ・今までワークショップの経験があまりなかったので、貴重な経験になったため。
  - ・意見の集約方法・出し方などを知れたから。
  - ・ワークショップ、模造紙の使い方などを学べたから。
  - ・進行過程ごとに丁寧な説明やアドバイスがあったため。
  - ・次のワークを1つずつ説明してもらうことで、次に何をやるのか、どのような考えで取り組むのかが分かりやすかった。
  - ・「各ワークの前で説明をした方が手順を忘れないだろう」というのはごもっともなのですが、最終地点だけでも教えてもらえたらもう少し意見がまとまりやすかったかなと思います。
  - ・とても充実した時間を過ごせた。あっという間に感じた。
  - ・決められた時間内で課題を解決することはとても大切だが、少し時間が短いと感じたから。

#### ■普通（5名）

- ・話し合いは出来たが、あまり議論が深まらなかった。
- ・班員と話し合う時間があったのは良かった。しかし、待ち時間や「ただ聞く」だけの時間はたいくつ。タイトルやまとめ方ももっと自由にさせてほしかった。「KJ法とは、こういうもの」という固定概念があるまま進行されていた感じ。
- ・内容については、今後の業務の中で必要と思われる要素が多かったため、良かったが、作業の説明が適宜されたため混乱する場面もあったため、一連の作業についてはある程度初めに説明していただいたほうが良いと感じた。
- ・必要なことは初めに全て説明してもらえると良かった。していることの手を止めてきくのは頭が切りかわらず中々覚えられない。
- ・最後の発表は回ると効率が悪いので、班ごとに発表した方がよい。
- ・市の職員として必要とは思いますが、実務で役立つのか言われるとギモン。

#### 〈Q3〉ワークショップでの気づき

- ・市には多くの魅力や使える資源があるのに上手く活用できていないことに気づいた。
- ・これといった魅力が新潟市には不足している。もしくは、広報不足を感じた。
- ・本日のワークショップでは、最後の発表でほとんどの班で新潟市の魅力について発表していました。そこで新潟市は魅力があるにもかかわらず発信があまりされていないのではと思い気づいた点になります。
- ・新潟市にはほこれるものがたくさんあるのに、県外で生活していてあまり知る機会がなかったのは、PR方法のちがいのかと周りの発表を聞き気づいた。
- ・新潟のPR下手なこと
- ・市は、アピールが苦手であるということ。どの班でも出ていました。
- ・PR不足は全体的にどの業務においてもあると思った。
- ・多くの人が魅力を知りつつも発信できていないことを嘆いていたこと。

ワークショップのまとめ

- ・まずは自分が新潟市をもっと好きになり、発信していかなければいけないと思った。
- ・自分で住んでいる中では気付けない新潟の魅力を認識できました。
- ・今までにない新潟を見つけることができました。
- ・気づかなかった新潟市の魅力に気づけた。
- ・思いの外新潟市には魅了がたくさんあり、今まで自分はそれらに全然気づけていなかったなということに気づきました。
- ・色々な人と意見交換をして、新たに気づく新潟市の魅力を知れた。
- ・ワークショップを通して、自分の意見を他の人がそれにひも付けして、色々な意見を知れた。
- ・意外と新潟市の特産物が有名だということが分かったが、交通面で不便な部分があるということ。
- ・新潟市の潜在的な魅力及び課題
- ・新潟市の魅力の再確認、問題点。
- ・新潟市の魅力・課題など様々なことに気づかされた。
- ・新潟のイメージというものが、自分の中でも確固としたものを持てなかったことが意外だった。
- ・新潟市についての知らなかったことの気づきもあった。また、同期の新潟市についての知識量、熱意も感じた。
- ・新潟の魅力や課題が知らない部分も知れた。
- ・自分が普段あたりまえのように感じてしまっていた新潟の魅力を再発見できた。
- ・自分が今まで気付いていなかった新潟市の魅力や地域課題に気付くことができた。
- ・自分が把握していない、市の課題が多くあること。
- ・新潟市の魅力、課題、行政がこれからすべきこと。
- ・新潟市の強みや課題を認識でき、その課題に対して強みをどのように生かすことができるか考えることができた。
- ・部署の性格が意見に反映される事が多かった様に感じます。
- ・どの課に所属しているかで視点、意見が異なっていた。
- ・班のメンバーが働く部署によって新潟市の課題だと思う点がちがった。特にインフラ整備の課題については勉強になった。
- ・今いる職場、出身地によって視点が違っていた。
- ・自分とは違う意見、多様な考え方を知れて勉強になった
- ・市外、県外出身の方は新鮮な目をもって、新たな気づきがありました。
- ・新潟市に住んでいる、住んできた人よりも、新潟市外の方のほうが魅力を分かっている気がした。
- ・人それぞれ、地域に関する考え方や視点が異なるということ。
- ・人によって大切にしている観点が異なることに気づけた。
- ・自分が気付かない視点があるということ。
- ・他者の意見をきき、様々な視点を感ずることができた。
- ・自分が当たり前と思っていることも魅力、課題ととらえられること。
- ・同じテーマでも個人個人によって、考える課題や思いが違い、改めてまちづくりや総合計画を作成するのは難しい仕事だなと感じた。
- ・人によって同じ政策でも様々な違う思いがあること。
- ・地域資源、地域課題を出す際、色々な考え方があった。
- ・新潟市の他の方が考える課題（こんなのもあるのか！というのものも…）
- ・他の人が抱いてる新潟市の理想像

- ・様々な視点からの意見で分からなかったことやさらに理解が深まったと思いました。
- ・自分では思いつかなかった魅力や課題について、教えてもらえた。
- ・新潟市において足りない点は自分の中に何となくありましたが今回他の班などの発表で考えもしなかった観点からの意見が聞けた。
- ・他の班の発表や、同じ班の人達の意見を聞いて、色々な視点からみた新潟市を知ることができた。
- ・1つの課題に対しても、それぞれの職場の強み・現状を把握しながら多角的に解決策を話し合うことができた。
- ・それぞれの所属の課で市の活性化のために改善していけたらよいところが知れて面白かったし、知識がついた。
- ・それぞれの所属で思いつくことが違っていたりしたり、新潟といえばの考えが同じ意見が多くあった。
- ・部署が異なっても新潟市に対して感じていることは似ていた。
- ・市職員が今の新潟市にもつイメージ・問題点は大体一致しているということ。
- ・多くの人がベースとして課題としている所は同じだと気づきました。
- ・他の班の考えたことを聞いて、自分の班と同様の内容で議論がされていたので、新潟市に抱えている課題に対して各職員が同じ認識をもっていることが感じられた。
- ・全ての班の発表をきいて、皆さん似たような事を考えているなと思った。
- ・目指す方向はほぼ皆同じであるということ。
- ・新潟市は少子化、人口流出など聞いたことのある問題もあったが、交通整備など話し合いによって気付くことができる問題があった。
- ・交通機関の充実が必要なこと
- ・新潟市の交通についても不満をもっている人が割といること。
- ・新潟にはランドマーク（市民共通のもの）がないということ。レインボータワーがなくなったことで、ランドマークと呼べるものが市民の中には今ないのだと思った。
- ・新潟市のシンボル不足、交通の弱さが大きな課題だと、全部の班の発表をきいた上でも思った。
- ・自分の職種以外の職種の方から、防災や子育て、農村開発など、自分では思いつかない視点からの意見が聞けて考える幅が広がった。
- ・一つの目的を達成するために、様々なアプローチの方法、また問題点があること。
- ・ひと言に「人口流出を防ぐ」といっても、多方面からアプローチできることを改めて感じた。
- ・マクロな視点で問題点を見ることの大切さを再確認した。その中で、1人1人にあたえられた仕事、責任をきちんとこなしていかなければならないと感じた。
- ・意見をひとことでまとめるのは難しい。
- ・複数人で意見を持ち寄ったときの統合の難しさ。他の意見がとても参考になる。
- ・いろいろな意見を出すにはコミュニケーションを良好にとる必要がある。
- ・人の意見を聞くことの大切さ。
- ・話のやり方、言葉の選び方が上手い人が多くいらっしまった。
- ・ワークショップを通じて同じ班の人の意見を聞くことで、自分の中の考えがまとまったり、新たな発見をすることができました。
- ・1つのことを行うための手段や方法が複数人で話し合うことでより多くアイデアが出されること。

- ・順を追って意見を出し、まとめていくことで、短時間でも発表出来るまで話し合いがまとまることに気づきました。
- ・周りの方のレベルが高いなと感じた。
- ・まちづくりは非常に複雑でばくぜんとしていて難しいこと。

#### 〈Q4〉WSで嬉しかったこと・残念だったこと

##### ■嬉しかったこと

- ・他の所属の知り合いが増えたこと。
- ・異なる部署の人と知り合えたこと。
- ・同期の方と知り合えた事。
- ・新たな同期と知り合えたこと。
- ・同じ考えを持つ仲間に出会えたこと。
- ・人と話せたこと。
- ・他職員の話が聞けたこと。
- ・同期の方と、色々話せて良かった。
- ・同期とたくさん話せたこと。
- ・同期とたくさんお話できてよかった。
- ・はじめて話す同期とコミュニケーションがとれたこと。
- ・普段の研修ではあまり話せなかった人とコミュニケーションをとれたので、人間関係を築くことができ良かった。
- ・同期の方とあまり話す機会がなかったので嬉しかった。
- ・普段は交流のない同期とコミュニケーションがとれたこと。
- ・普段会うことのない同期と色々話せたこと。
- ・同期と交流できて嬉しかった。
- ・同期の方々と交流を深められたこと。
- ・同期とワークショップを通じて交流ができて嬉しかった。
- ・まだ話したことがない方とも交流することができた。
- ・話したことのない市職員と交流できたこと。
- ・関わりのない職員の方と学べたこと。
- ・普段交流できない人とグループワークを行えたこと。
- ・様々な人の意見をきくことができた。
- ・メンバーとよいコミュニケーションがとれた。
- ・班の方と交流でき、意見を聞いたり、考えていることを知れたこと。
- ・班員と話せたこと。色々話していると、新しい集団力が生まれてきておもしろかった。
- ・意見交換できたこと。
- ・全員で共有し、話ながらできたこと。
- ・自分の班で話し合ったりコミュニケーションがとれて楽しくできたことです。
- ・グループ内で数多くコミュニケーションが取ることが出来て嬉しかったです。
- ・グループの方が全員積極的だったので、静まることなく話し合いを深めることができたことが嬉しかったです。
- ・一人一人の意見を全員で聞いて全員でまとめあげることができたこと。
- ・班の中で意見がまとまって嬉しかったです。
- ・意見を1つの方針にまとめられたこと。
- ・最初はお互い緊張しながらも最後には意見をまとめ発表できるまでに至ったことがうれしかったです。
- ・1人ひとりの意見が尊重されており、嬉しく思いました。

- ・様々な意見を交換することで、より深く課題について話合うことがうれしかった。
- ・自分の意見と他の人の意見が合わさることでより良いアイデアになったことが嬉しかった。
- ・いろいろな考えに接することができて新鮮だった。
- ・自分なら、他の人はの意見の違いを知れた。
- ・自分にはない見識にふれることができた。
- ・Q2でもあったように、自分の部署以外の方の意見が聞けて嬉しかった。
- ・色々な意見が聞けてよかった。普段の業務の専門外のところもあり勉強になった。
- ・多くの人の意見を知ることができてよかった。
- ・コロナ渦で同期と話す機会が少なかったので、色々な職種の人から話をきいたり、職種ならではの意見・考えを知ることができて嬉しかったです。
- ・新潟の良さに気づけたことです。
- ・新潟市の魅力をより知れたことです。
- ・新潟市の魅力と問題を知ることができた。
- ・Q3の発見ができた（新潟市の魅力、課題、行政がこれからすべきこと）。
- ・やはり課題が多い新潟だと痛感しました。行政として行うべきことはいっぱいあります。
- ・様々な部署の考えを聞いたこと。
- ・自分の意見を周囲にしっかり伝えることができて良かった。
- ・グループのメンバーが発言内容に共感・受容してくれて自分の意見を堂々と言うことができた。
- ・「このアイデアが良い」とチームの中でほめてもらえたこと。
- ・最後、無事に発表できたこと。
- ・発表者に選ばれた事。
- ・誕生日が同じ方がいた。

#### ■残念だったこと

- ・最初に書いた「地域資源と課題」のシートを共有する機会がなかったこと。他の班の内容をもっと見たかったです。
- ・もっと魅力や課題に気づき、意見を出せるとよいと思った点が残念だった。
- ・もう少し発言できればよかった。
- ・行政がすべきことの題名が難しくてなかなか思いつかなかったこと。
- ・自分の意見や他人の意見を発言したり、まとめたりが難しかった。
- ・抽象的でまとめるのが難しかったこと。
- ・意見を集約し、まとめ文章にすることが難しかった。
- ・もう少しまとめられたのではと残念に思いました。
- ・時間ギリギリの作成で、自分の中でまとめる時間がとれず、発表の際にとまどってしまった。
- ・発表はとても難しかったと思います。
- ・最後の発表で上手く話すことができなかったことです。
- ・全体発表がなかったこと。
- ・考える時間が短かったこと。
- ・もっとフリートークして仲良くなりたかったこと。
- ・考える時間が足りなかった。
- ・もう少し長くても良かった。
- ・少し時間が足りないと感じました。
- ・少し時間が短かったことが残念だった。

ワークショップのまとめ

- ・もう少し長時間でやれたらもっとよいのではないかと思った。
- ・半日じゃなく、1日通してやりたかった。
- ・半日で終わってしまうこと。これからPM働くこと。
- ・最初の関係づくりゲームで全て誕生日がそろわなくて残念でした。
- ・バースデーサークルのルールが2つのグループで違ったこと。ジェスチャーOK、ジェスチャー禁止、でした。
- ・アイスブレイクのやり方が事前ルールとちがくなったこと。
- ・全員とでは無い事が残念でした。
- ・会場まで遠い。
- ・残念なことは1つありませんでした。

〈Q5〉 学びを今後の業務にどう活かすか

- ・今後の業務に新潟市の新しい視点を持って活かしていきたい。
- ・今まで自分が考えていなかった新潟の魅力、課題を認識できた。視野を広げ業務にあたりたい。
- ・広い視野をもって仕事していきたい。
- ・自分の業務にあたる際も幅広い視点で考えたいと思う。
- ・普段の業務で新潟市の魅力や、今後について考えることがなかったので、広い視野で業務に取り組んでいきたいと思っています。
- ・自分が気付いていなかった課題や意見も多くあったので、もっと視野を広げ、様々な視点から課題に取り組むようにしたい。
- ・広い視点でまちの未来を考えられた。普段の業務でも広い視点をもって取り組みたい。
- ・業務範囲外の事も興味を持って、問題解決に取り組みたい。
- ・違う視点からの新潟の意見を生かしたい。
- ・自分では気づけなかった市の良いところ、課題がありました。それを忘れずにいること、そして視野を広くもちながら業務にあたりたいと思いました。
- ・今回の研修では、様々な視点から新潟を考えることができ、すごく可能性が多い市であることに気付くことができた。ワークショップの進め方もとても勉強になりました。これからも新潟の今後について考えていきたい。
- ・ワークショップでの意見のまとめ方の手順は今後、業務で同様のことがあった場合に生かせると思います。
- ・ワークショップの進め方は、今後物事を考える上で、考えを引き出し、整理する方法として積極的に活用していきたい。
- ・異なる意見同士をまとめることの大切さを学んだので、職場でもそれを実践していきたい。
- ・会議やミーティングで、意見の集約方法や発言の意図の汲み取り方を活かしたい。
- ・アイデア出しや、意見を取りまとめる場で使っていきたい。
- ・ワークショップのような情報のまとめ方は今後、業務に行き詰まったときに役立つと思う。
- ・アイデアを出すときに、付せん書き出してみようと思います。
- ・意見を出し合い、まとめる手法を真似したい。
- ・色んな意見を取りまとめる（集約する）ことを学んだ。今後、打ち合わせ等で、皆の色んな意見や考えをまとめるときに活用したい。
- ・自分の意見をきいてもらう、他の人の意見をしっかり聞くということを今後の業務でも心がけたい。
- ・自分の意見と異なる意見を受入れ、消化する事を活かしていきたい。

- ・意見を積極的に述べること。また他の人の意見を必ず自分で考えること。
- ・自分の意見を積極的に言うことで、議論が発展していく。この経験を、業務にも生かしていきたいと考えます。
- ・結論まで出せなくても、キーワードを出すことで新しい発想につながるなど思ったので、発言を怖がらずにしていこうと思います。
- ・多くの人へ意見を伝えること・意見をきくことを大切にしたいです。
- ・まとめた内容を伝えるスピーチする力。
- ・発表の仕方に個人個人特徴があって、とても勉強になった。自分もうまく説明できるように日々努力していこうと思う。
- ・グループ活動での行動のしかたを反省し、もっと上手くできるようにする。
- ・新潟についても広く情報収集したいです。
- ・新潟について、対外的に話せるようにしたい。
- ・新潟の魅力を伝えていきたい。
- ・魅力を伝えていく際に伝えたい。
- ・児童に関わることが多いので、魅力を語れるようにしたいと思います。
- ・市民に市のサービスや良い点はきちんと伝えていきたいと感じた。
- ・市民の皆さんに発信していきたいです！！
- ・今の仕事のPRをしていきたいと思った。
- ・新潟市をもっとPRするために、業務でできる範囲で良さを発信していきたい。
- ・今日のワークショップで学んだことを活かし、PRのやり方などを工夫していきたいと思う。
- ・市職員の役割を認識して、働きたい。
- ・市民の方の要求・ニーズに寄り添った窓口対応をしていきたい。
- ・市職員として心がまえとして活かしていきたい。
- ・新潟市を動かす側の人間として誇りをもっていきたい。
- ・市民生活・利便性・快適性向上を目指すために活かしたい。
- ・課題点がうきぼりになったので、自分の業務を行う上で反映させていきたい。
- ・魅力ある新潟市に向け、施策作りのさいに活かしていきたい。
- ・担当業務の中でも新潟市の理想像に必要なものを探して考えていきたいです。
- ・住みよいまちにするために仕事をするとこの視点が抜けていたので大きな目的としてそれがあるということを心に留めて仕事をしたい。
- ・ただ仕事をするだけでなく、どのようにしたら市の理想像に近づくか考えながら業務をしていきたい。
- ・新潟市をより良くするという意識を持ちつづけて仕事をしていきたい。
- ・小さな業務でも、最終的には「何のための仕事」なのかを認識することが大切だと感じた。
- ・私の業務は、道路や側溝などの整備ですが、こういった仕事が発展にどう繋がっているのか考えながら働きたいです。
- ・自分たちで思いがいた理想を実現できるように、まずは自分の業務を日々がんばりたいです。
- ・目的を達成するため様々な取組みをしていきたい。
- ・目標が明確になったので、仕事の異動などで機会があったら行動していきたいと思っています。
- ・住みたい、住み続けたいと思える街づくりのために、施設のバリアフリーや利便性に優れた施設改修を図っていきたい。
- ・今後の行政を考える上で今日の内容を参考にしたい。
- ・支援対象者との会話でいかしたい。

ワークショップのまとめ

- ・子育て支援は業種的に深いかかわりがあり、自分自身でも若い世代の転出が多いと感じるため今日の話し合いの内容を活かしていきたい。
- ・新潟市の課題がどのようなものか学びました。そこで今、私ができることを考え今後の業務に活かしたいです。
- ・今回のワークショップのテーマは業務とは直接関係ありませんが、アイスブレイクを行ってから窓口手づきに入るなど、市民の方との関わり方に活かしたいです。
- ・新潟市の足りない点で除雪対策なんかはいずれ担当になる業務だと思うので足りない点であげられないようにがんばっていきたいです。
- ・色々な部署にいる人と話し合いができて、その方々の意見をふまえ、自所属の方で活かせることがあったので、活かしていきたい。
- ・自分の職場（福祉関係）でも活かせるような意見があった。少しでも貢献できるように動く。
- ・広い分野を知識として知れたので今後その知識を活かしていきたいです。
- ・他部署に異動したときに思い出して、必要なことと認識し反映できるようにしたい。
- ・直接役立つかは分からないが、今回出た意見を自分の知識の一つとして吸収して役立てたらうれしい。
- ・現在携わっている業務ではあまりできないことですが、異動したら、できることをしたい。

〈Q6〉その他、気づいたことなど

- ・理想と現実が違って考えることが大切。行政は理想を追い求め続ける。
- ・2班の発表がとても良かった。皆同じような内容になってしまうが、発表の仕方でも伝わりやすさが変わってくる。プレゼン能力が向上するような研修がもっとあればよかったです。コロナなので難しいとは思いますが…。
- ・「SNSで魅力発信」は皆言っていたが、すでにやっていると思います。どうやったら見てもらえるか？まで考えたかったが、時間が足りなかったです。ありがとうございました。
- ・今回は、比較的年代が近い者同士だったので、年代ちがいの人ともこういったWSを行うことができると思う。
- ・今後も、こういったワークショップを通して、同期とのつながりを作れればと思います。
- ・久しぶりに他業種（務）の人とコミュニケーションをとれてとても楽しかったです。
- ・みんな考えて楽しかったです。
- ・ワークショップ、悩みましたが、たのしかったです！！
- ・楽しくワークショップができました。ありがとうございました。
- ・楽しんで学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・同班の出身等の情報が最初あればより深い話し合いができたかとも思いました。
- ・シート以外の課題（グループワーク中の）について、紙とかを配って頂けるとうれしいです。（見えにくかったため）
- ・次何をすればよいか不明確な時があった。
- ・席が机の横だったので、少し座りづらかった。
- ・音文にはじめてきて（市民でしたが）、場所（案内板等）がとてもわかりにくかったこと。
- ・自分の字が汚くてかなしくなりました。



- ・大変勉強になる良い機会をありがとうございました。
- ・有意義な時間をありがとうございました！
- ・とても楽しい研修でした。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。(2)
- ・まちづくり学校さんのワークショップに他にも参加してみたい。

ワークショップのまとめ

